



発行所
カトリック福江教会
 広報委員会
 五島市末広町 3-6
 ☎ 0959 (72) 3957
 ●ホームページ●
<http://www15.ocn.ne.jp/~mikokoro/>

感謝を忘れずに

助任司祭 **野濱達也**



「あつという間だった」過ぎ去りし二年を振り返り、ただただそのように思います。五島に来たのがまるで昨日のことのようであり、時間というものは限られたもので、その流れの速さを感じています。二年という短い期間ではありましたが、福江教会の信徒の皆様には大変お世話になりました。心より厚く御礼申し上げます。

主日のミサを皆さんと共に捧げることが月に一回程度しかなく、皆さんとの関わり、福江教会における私の働きというのは不十分で

あつただろうと思います。それゆえ皆様にはたくさんのご迷惑をかけ、多くの戸惑いを与えてしまったかもしれない。他の教会も抱えているという状況の中で、致し方ない部分もあったのかもしれないが、もっと出来る事もあつたのではないだろうか。しかしそれでも、仲間として、時には息子のよう孫のよう接してくださった信徒の方々、教会学校の子どもたち、なにかと協力してくださったシスター方、たくさんのお会いをいただきました。

司祭に叙階して六年。最初の四年間は神学校という教会司牧とはまた違った場所にいた私にとって、最初の教会であるこの福江教会で出会った人たちは、決して忘れる事のできない大切な存在となりました。寂しくなりますね。もう少し居て欲しかった。異動が決まった時、こう語ってくださった方もいました。そのように思っていただけのことかもしれませんが、その言葉が今後の力となり励みとなります。

「いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。どんなことにも感謝しなさい。」(1テサロニケ5:16-18) 司祭叙階の時、記念のご絵を作成した際に掲載した聖書の言葉です。これから司祭として生きていくにあたり、常にこの言葉のようにありたい、また自分自身を見失うことがあるのならばこの言葉に立ち帰っていくことができるように、との思いの中で掲げた言葉です。今一度この言葉を心に留め、皆様への感謝を忘れずに福江教会から旅立っていきたいと思います。

福江教会は今年百周年を迎えます。長い教会の歴史の中で、その一部に加えていただけたことを光栄に思い、感謝しております。福江教会が今後益々発展し、より良い教会共同体へと成長していきまますように今後もお祈りさせていただきます。

完成された司祭館を眺めながら、せつかくだから少しは住んでみたかったな。との思いも少なからず感じますが、新任地でも司祭としての務めを全うできるように努力してまいります。 本当に二年間お世話になりました。ありがとうございます。

感謝の言葉

野濱神父様、この度の教区の異動により佐世保の早岐教会へ転任される事になったとお聞きしまして、私共小教区信徒はせっかく慣れてきたのにと、一抹の寂しさを隠せないでおります。二年間の間、子供たちの信仰教育を始め私共信徒を温かく導いて下さりありがとうございます。心から感謝申し上げます。

神父様もご存知のように、百周年記念事業として念願であった司祭館もお陰様で立派に完成しました。新しい建物で司牧活動に励んでいただけるものと、みんな楽しみにしております。矢先に、このようにお別れすることは誠に残念でなりません。子供たちもすっかり慣れ親しんで、教会学校に行つて遊んでもらえるのを楽しみにしていたのに子供たちにとつてもつてもつらい事だと思いません。無理にでも引き留めたい気持ちには山々ではありますが、教区の都合であり神父様のご栄達に関わることでありますのでこれからの活躍をお祈りしたいと思います。

神父様の心のこもった天まで届くような澄みきった声で捧げられるご

ミサは、私達信徒の心を癒し、元氣をいただきました。説教にしても、はつきりとわかりやすく話す気遣いは通じるものがあり、誰もが感じ取っていたと思います。教会に行つて良かった、ミサに預かって良かったと思うほどでした。今日のごミサも力強く、すばらしいミサでした。皆さんも務めとはいえ雨の中でも来て良かったと思つていることでしょう。

新天地も良いところとは聞いておりますが、どうか健康に留意されまして司牧活動にお励み下さい。神父様の今後益々のご活躍をお祈り申し上げますが、お別れの言葉とさせていただきます。

平成二十六年四月十三日
信徒代表 浦 国昭

平成26年度 班長

地区	班	氏名	世帯数
番町北 馬津川さん	1班	川口 義人	14
	2班	入口 正雄	17
	3班	大川 雅巳	12
	4班	宮本 末広	13
	5班	大窄 浩二	18
	6班	川口 安弘	14
番町南 中島さん	1班	福島 誠	20
	2班	田端正 樹	16
	3班	岩下 光秀	11
	4班	本村 信雄	12
	5班	入江 哲	15
	6班	中尾 裕治	13
	7班	中尾 勇治	14
	8班	小柳 久明	11
地区外			9
町地区	1班	山下 祐輔	15
	2班	岩下 葉二	14
	3班	赤窄 渡	14
	4班	竹内 義弘	8
	5班	中村 末吉	6
	6班	谷口 陽二	12
	7班	浜村 藤好	11
水主町	1班	川端 清秀	11
	2班	原塚 静江	11
	3班	赤尾 輝幸	10
	4班	宮崎 トシ子	8
	5班	下崎 修治	14
松山	1班	戸村 友一	11
	2班	岩下 忠義	12
	3班	出口 謙也	15
	4班	赤尾 守	18
	5班	岩下 忠文	11
	6班	木口 キクエ	16
	7班	泊 美司	18
	8班	田崎 幸一	16

新旧班長会

4月13日(日)二番ミサ後に新旧班長会が開かれた。

新年度になって教会の各班の班長さんが交代し、それにともなつて旧班長さんはお疲れ様と、新班長さんにはこれから一年間お願いしますの気持で茶話会形式で行われた。

最初に下口神父様から班長さんはいへんですけど頑張ってくださいとあいさつがあり、そのあと、経済評議委員の中島さんから、班長の仕事についての説明があった。

班長さんからは、高齢化のせいかな班長を持つてくれる方が少なくなり困つてるとの声があり、昨年から続けてしている人も何人かいるようだった。



班長さんの仕事は毎月の集金や広報誌の配布など大変であるので信徒の方々は大変さを理解して頂き、協力をお願い致します。

教会学校
お別れ遠足 3/8

去る3月8日(土)に教会学校お別れ遠足を開催しました。行先は中央公園。曇り空で、少し寒い中の遠足になりましたが、教会の中とは違った顔を子どもたちは見せてくれました。楽しいひと時になったようです。

春からはひとつずつお兄さん、お姉さんになっていきます。今年はどうな表情を見せられるのでしょうか? 教会学校を通して学び、ごミサを体験し、神さまの子として一歩ずつ前進していく子どもたち。侍者も頑張ってくれています。

「天の国は幼子のようなものたちのものである。」と言われたイエスさまに信頼して、今年度も頑張っていきたいと思います。引き続きお祈り、励まし、ご協力をよろしくお願いたします。どうぞ、親子で、ご家族でごミサにご参加ください。



百周年記念コンサート



去る4月6日(日)福江教会にて小教区設立百周年記念コンサートが開催された。当日は好天に恵まれ、多数の方が来場された。来場者にはコンサートのしおりとともに、福江教会の旧聖堂と現在の聖堂を写した記念カードが配られた。



成り立ちについて紹介がなされた。

コンサートでは、混声合唱団コールフロイデの歌う「早春賦」を皮切りに、奥浦混声合唱団の「森の教会」などあわせて十曲が披露された。いずれも日頃の練習ぶりが容易に想像できるほど、感情のこもったすばらしい歌声であった。

続いてシスターによる合唱団コール・アンジェラスによる透き通るような歌声が披露されると会場は荘厳な雰囲気になりました。

最後に全出演者による合同合唱と福江教会の歌を会場全体で歌ってコンサートは盛況のうちに幕を閉じた。



洗礼式

四月十九日復活前夜祭で、熊川留美さん（洗礼名クララ）と中野咲子さん（洗礼名マリア）のお二方が洗礼を受けました。ミサ終了後に感想をお聞きしましたので紹介いたします。

おかげ様で洗礼の秘跡を授かることができました。私も福江教会の一員としてこれからも頑張っていきたいと思えます。みなさん宜しくお願いします。
（熊川留美さん）

カテキスタ紹介

五名のシスター方がカテキスタとして子供たちのお世話をして下さいます。今年度より新しく担当となった二名のシスターよりご挨拶をいただきます。

「今年度より、小学一年生のカテキスタを担当させていただくことになりました。子どもたちが個々に神さまと出会い、神さまを身近なものとして感じられるように、その仲介者としての働きができればと思っています。どうぞよろしくお願ひします。」
（シスター中野）

「初めまして。26年前、初めていいことを担当した子どもが立派なシスターになり、福江教会のために奉仕

去年の四月の初めから準備をしてきましたが、体調も悪かったりして



神父様にも迷惑をおかけしました、式では大変緊張しましたが洗礼の秘跡を授かることができました。また、堅信の秘跡も受けたいので神父様にお願

している姿を見て、感動しています。今回もこのような出合いを期待しつつ…。どうぞ、よろしくお願ひいたします。」
（シスター櫻本）



右よりシスター山下、中野、櫻本、牧野、真浦

いしよと思えますので、宜しくお願ひします。
（中野咲子さん）

福江教会に新しい家族が増えた事を祝い、一人でも多くの家族が増えることを願ひお祈りをお願いします。



《香典返し》御礼

（寄付）

○木口 和男様

故 アグネス 木口 マツエ様

○峰 重昭様

故 ヨゼフ 峰 勇様

（謝礼）

○山見 ハマ様

故 ミカエル 山見 安見様

右記の方々から香典返しに代え、

ご芳志を賜りました。

お礼をご報告申し上げますと共に

故人の永遠の安息を心からお祈り申し上げます。

（謝礼）

編集後記

今回の「こころ」は新年度になつて初めての発行です。本来であればもう少し早い時期の発行予定でしたが、福江小教区設立百周年という大きな行事があった為と、連休にぶつか

り遅くなつてしまいました。この後、百周年記念号の発行を予定しています。今、いろんな方に原稿をお願ひし、準備をしているところで

ですので、原稿依頼を受けられた方々は御協力をお願い致します。また、皆様の中で百周年への思

いを書いて頂ける方がありましたら、広報委員会までお寄せ下さい。

